

ホワイトミニマルキッチン

木製ミニマルキッチン

toolbox

目次

安全上の注意	1-2
各部のなまえ・部品一覧	3
取り付け前の確認	4
基本取り付け要領	5
引出しの取り付け・取り外し・調整	6
取り付け後の清掃	7
取り付け後の点検	8

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

ご使用の前に、この取扱説明書本文にてくる「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みいただいた後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
各設備機器（調理器具・水栓など）には専用の取扱説明書が付属されておりますので必ずお読みください。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

●警告表示の見方

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表 示	意 味
 警 告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注 意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次のアイコンで区分し、説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、かならず実行していただく「強制」内容です。
	この表示は、気をつけていただく「注意」内容です。

警 告

	分解・改造はしない。 破損して、ケガをする恐れがあります。
	水道、ガス、電気工事は、関連する法令・規定に従い必ず「有資格者」が行ってください。 誤った接続や固定方法で行うと、ガス漏れ、漏水、発煙、火災、漏電の原因となります。
	本書指定位置(P-4)に取付用木下地(厚さ30mm以上、幅90mm以上または厚さ24mm以上の合板)が取り付けられていることを確認してください。 木下地がしっかりと取り付けられていないと落下して、ケガをする恐れがあります。
	かならず、商品に同梱している専用の取付部品・ネジ類を使用してください。 落下して、ケガをする恐れがあります。
	ネジ類で固定する際は、しめ過ぎて空回りしたり、ネジの十字溝を破損して、回しにくくならないようにしてください。 固定が不十分になり、落下して、ケガをする恐れがあります。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

警告



キャビネット・ワークトップの上に乗ったり、もたれかかったり重量物を乗せたりしないでください。

対荷重は20kgです。(下地がベニヤ24mmの1枚貼りの場合)

落下して、ケガをする恐れがあります。



シンクに排水金具を取り付ける際等、金属製品の切断面に手をかけるときは必ず保護手袋をしてください。

金属製品の切断面で、ケガをする恐れがあります。



移動等の際は2人以上でしっかりと持ち上げてください。

落下して、ケガをする恐れがあります。

※PPバンドを持って運ぶと商品の重量でバンドが切れてしまう恐れがあるので十分に気を付けてください。



設置仕上げに使われる溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、容器などにある注意表示に従い、正しく使用してください。

人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

注意



取り付け完了後は、扉・引出しの傾き、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認してください。

調整後はゆるめたすべての扉の指定のネジを硬く締め付けてください。

※締め付けが不十分な場合は、使用中に扉が落下してケガをする恐れがあります。



ビルトイン機器(水栓金具・排水金具・調理器具、その他の機器)については、それぞれに付属の説明書・注意表示をご覧ください、正しく取り付けてください。

誤った取り付けを行うと思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。

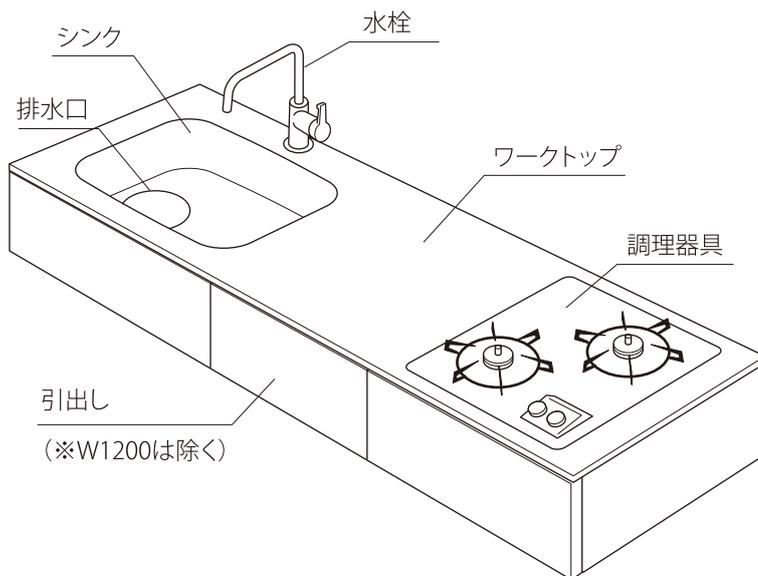


排水金具の接続は、各部品を確実に締め付けてください。

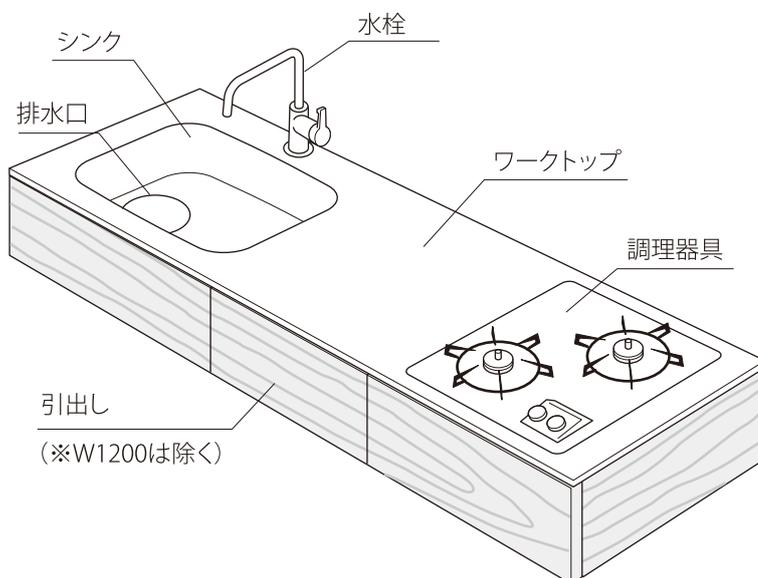
水漏れし、不快なおい、カビの発生、腐食の原因になります。

各部のなまえ

■ ホワイトミニマルキッチン



■ 木製ミニマルキッチン

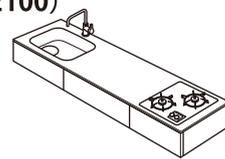
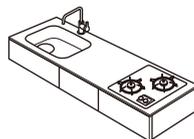


部品一覧

■ キッチン取り付け部品

■ I型(W1200~W1800)

■ I型(W2100)

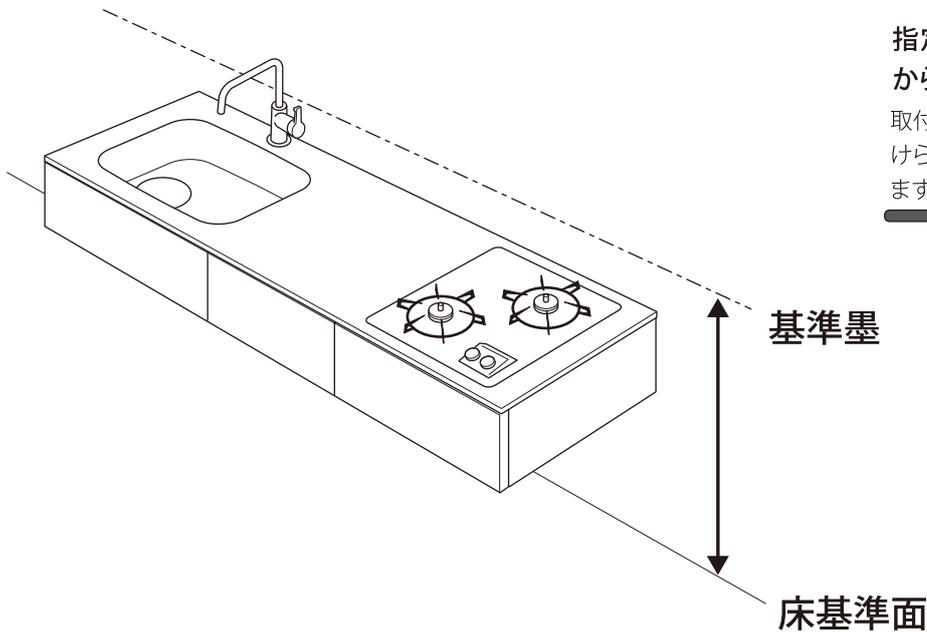


キャビネット取付ビス(細)  <small>φ3.5×51コースレッドビス</small>	12	12
ワッシャー+キャップ(白) 	12	12
キャビネット固定ビス(太)  <small>M6×45トラスビス</small>	8	12
ワークトップ固定ビス(短)  <small>φ3.5×10トラスタッピンビス</small>	6	9

取り付け前の確認

■ 床レベルの計測

基準墨を出して床レベルの最も高いところを床基準とします。



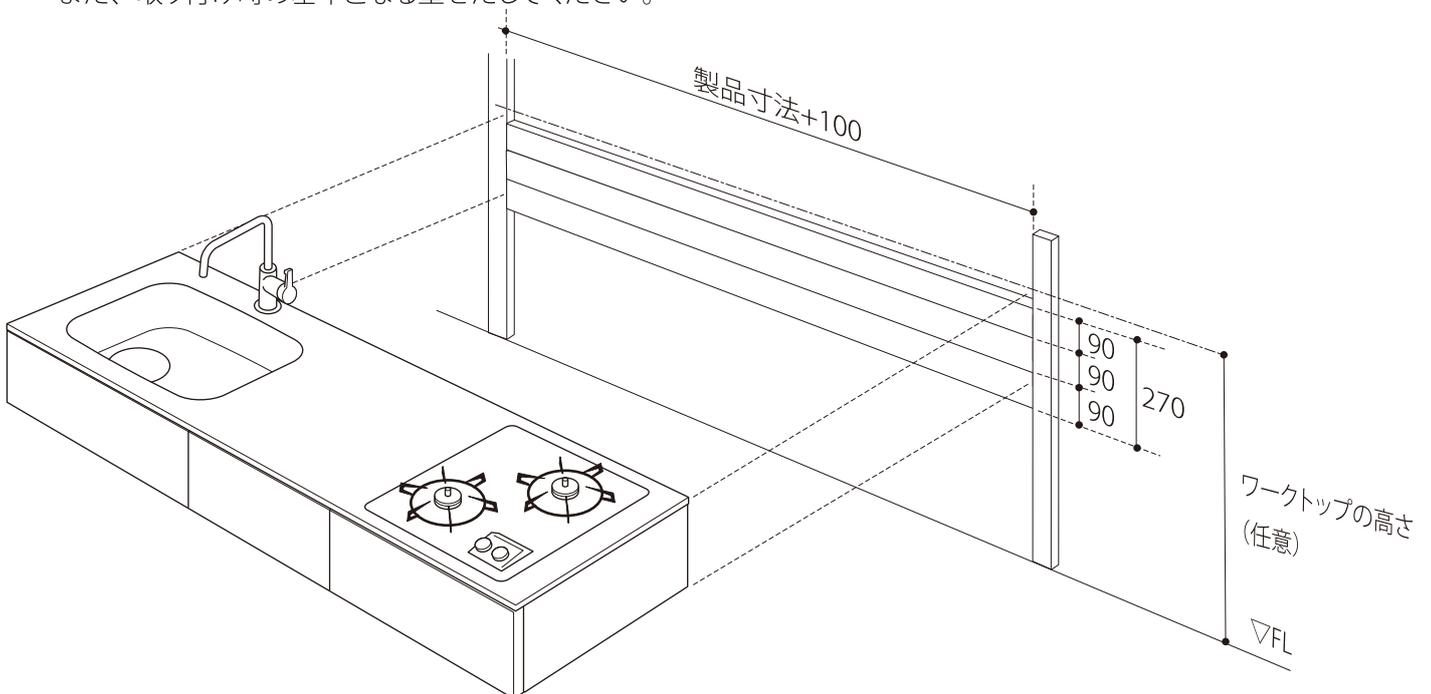
⚠ 警告

❗ 取付用木下地 (厚さ30mm以上、幅90mm以上または厚さ24mm以上の合板) が、指定通りに施工されていることを確認してから取り付けてください。

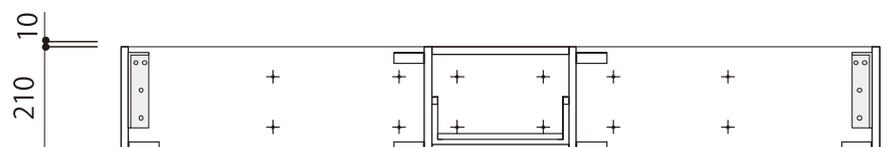
取付用木下地 (30mm×90mm以上) がしっかり取り付けられていないと、落下してケガをする恐れがあります。

■ 下地位置の確認・各基準線の墨だし

床基準より、下記の位置に取付用木下地がしっかり取り付けられていることを確認してください。また、取り付け時の基準となる墨をだしてください。



取付穴位置参考図

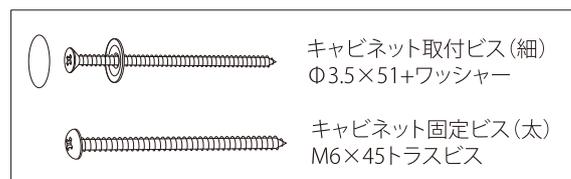
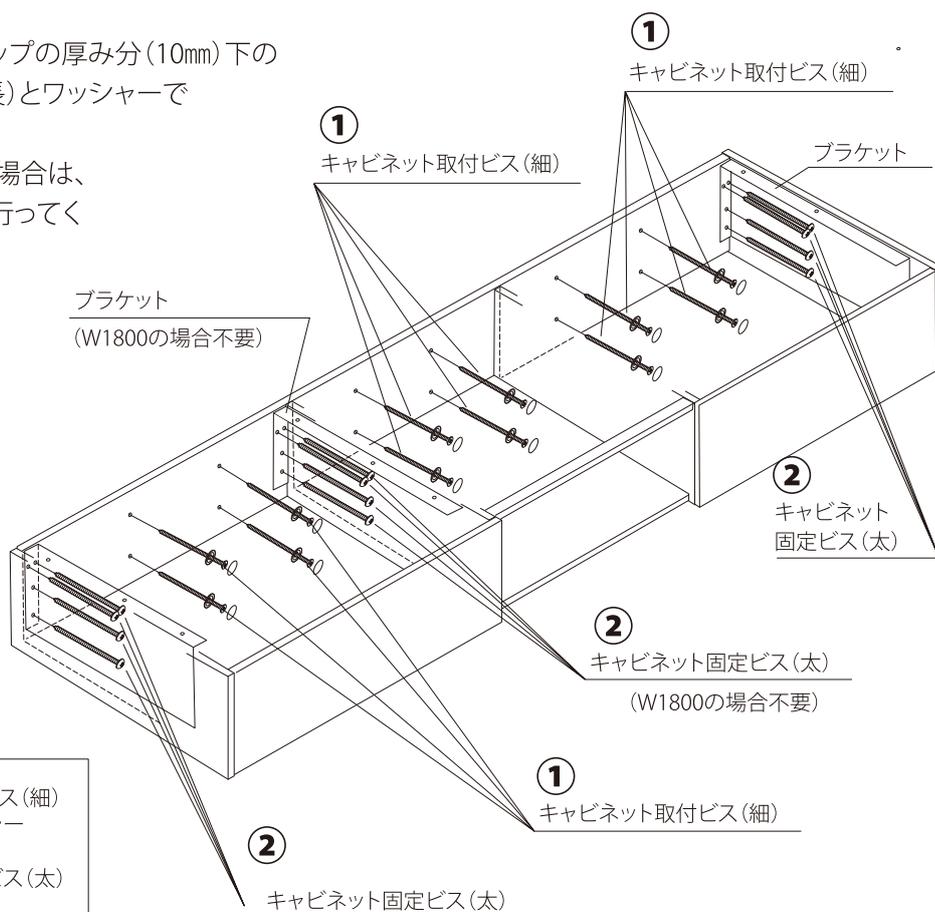


基本取り付け要領 (ベースキャビネットの取り付け)

■ ベースキャビネットの取り付け

- ① 任意のキッチンの高さからワークトップの厚み分(10mm)下の位置にキャビネットを取付ビス(細長)とワッシャーで取り付けます。/12箇所
(オプションキャビネットをご使用の場合は、一旦引き出しをとりはずして作業を行ってください。)

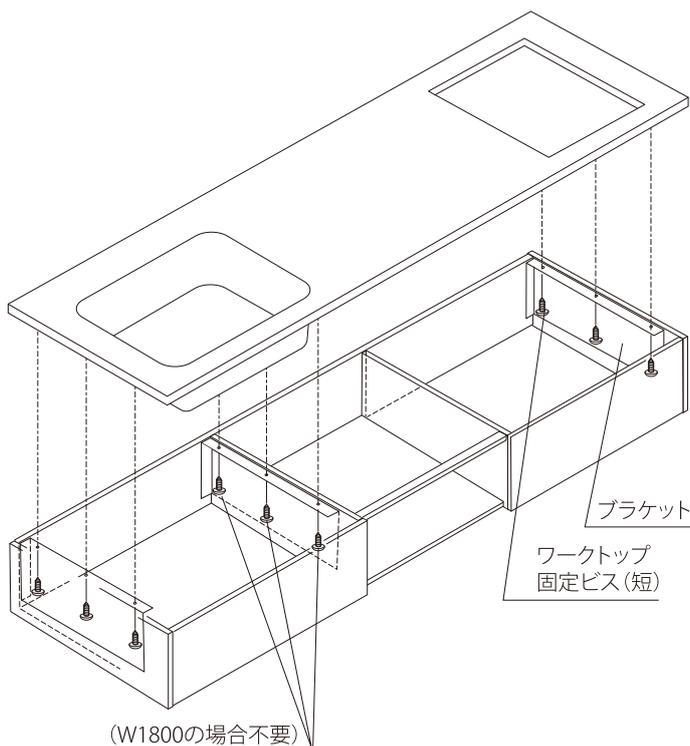
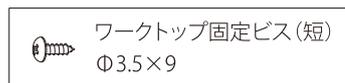
- ② ブラケットの穴に合わせてキャビネット固定ビス(太長)で固定してください。



■ ワークトップの取り付け

- ④ 図のようにブラケットの下から固定ビスでワークトップとキャビネットを固定します。

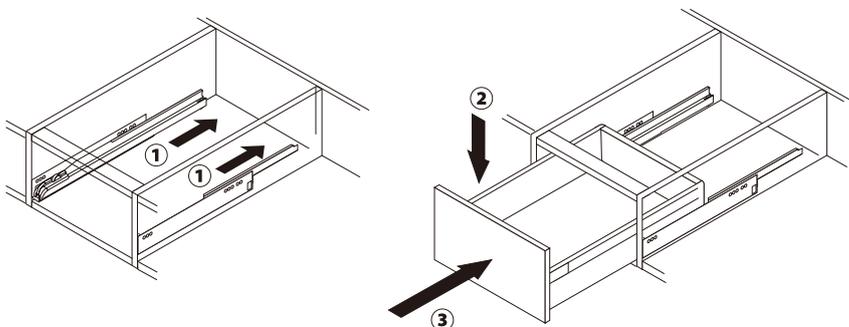
※設置後、壁に面している部分は、シーリング処理を行うようにしてください。



引出しの取り付け・取り外し・調整

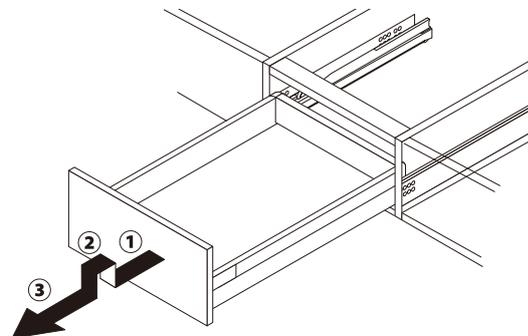
■ 引出しの取り付け

- ① レールを奥まで押し込んでください。
- ② 引出しをレールに載せてください。
- ③ 引出しを奥まで押し込んでください。
“カチッ”と音がしてロックされます。



■ 引出しの取り外し

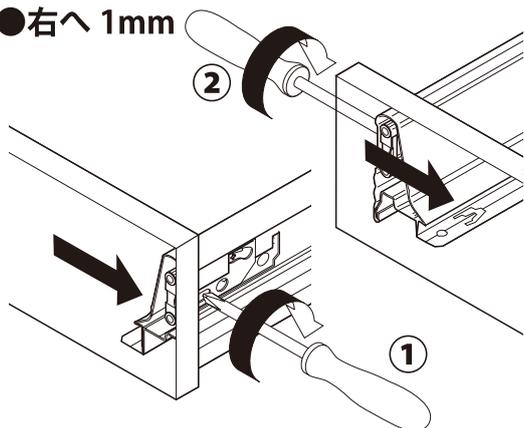
- ① 引出しを完全に引き出してください。
- ② 引出しの手前を斜めにもちあげるとレールから引出しがはずれ、
- ③ さらに手前に引くと取り出せすことができます。



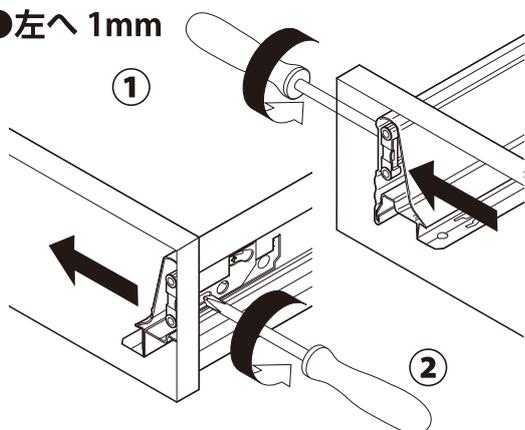
■ 引出しの調整

■ 左右調整

- 右へ 1mm

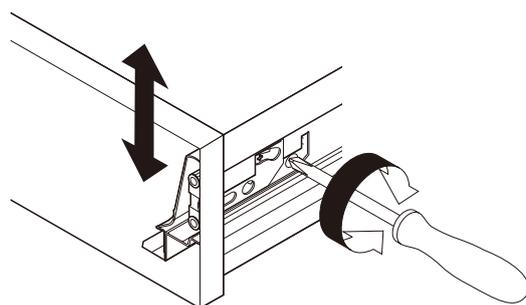


- 左へ 1mm

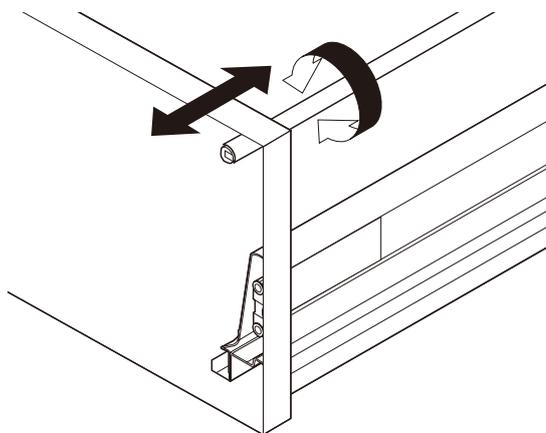


■ 上下調整

- ±2mm



■ 傾き調整



注意

引出しが正しく取り付けられていないと、引出しが落下してケガをする恐れがあります。上記の注意事項を確認して、確実に取り付けてください。



取り付け後、数回出し入れを繰り返して、引出しが簡単に外れないか確認してください。

取り付け後の清掃

清 掃

取り付けが完了しましたら清掃をおこなってください。

注 意



シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤）・漂白剤は使用しないでください。

変色の原因になります。



洗剤・漂白剤・殺虫剤・防腐剤等の薬品を使用する際は容器等に記載の注意事項に従いご使用ください。

使用方法を誤ると変色、変形、劣化の原因になります。



ワークトップやシンク内に水道工事などで出た鉄粉、鉄くず、砂などが落ちている場合は、必ず水で荒い流してください。

付着した箇所がもらい錆の原因になります。

取り付け後の点検

点検(取付完了報告書)

キャビネット	キズ・汚れ・残材がない。
	壁面と固定されている。
	扉・引出しに傾き・ガタつきがない。
	扉・引出しが調整されている。
	ソフトクロージング機能が正常に作動する。
	ヒンジカバー、引出しサイドキャップが取り付けられている。
ワークトップ・シンク	キズ・汚れ・残材がない。
	ワークトップとキャビネットとが連結されている。
	ワークトップが水平になっている。
	水漏れがない。
	トラップが取り付けられている。
シンクに水滴が残っていない。	
資 料	取扱説明書がシンクキャビネット引出しに収納されている。
養 生	養生されている。 製品の梱包材等を利用して、引き渡しまでキズがつかないように養生してください。

注 意



試運転を実施してください。

機器類(調理器、水栓等、メーカーの取扱説明書がある商品)は
取扱い説明書に基づき、試運転し、正常に機能することを確認してください。

www.r-toolbox.jp
